

ニュース・ダイジェストNANA

10月24日(金)から始まる「首里城祭」の国王と王妃役に選ばれた山川翔輝さんと宮里幸代さんが9月30日(火)、祭りのPRを兼ね、翁長市長を表敬訪問しました。

国王と王妃の豪華な衣装を身にまとった二人は、やや緊張した面持ちでしたが、翁長市長から選ばれた感想を聞かれると、山川さんは「琉球の事を、沖縄の人だけでなく、観光客のみなさんにアピールできるように気を引き締めてやっていきたい」と思っています」と力強く抱負を語っていました。



艶やかな衣装で首里城祭をPR ～首里城祭国王・王妃来訪～

悲惨な沖縄戦から、復興を遂げた先人たちへの感謝と市民が等しく平和を願う愛する心を、ジャズを通して県内外に発信する那覇平和芸術祭「ふれあいジャズフェスティバル2008」が10月13日(月)、那覇市民会館で開催されました。今年も、小学校14校、中学校2校の合わせて16校の児童生徒が参加。プロのジャズメンに直々に指導を受けたこともあり、どの学校の演奏もすばらしく、会場では音楽に合わせ、自然とスイングする観衆の姿も多く見られました。



平和への想いジャズに込めて ～ふれあいジャズフェスティバル2008～

平成20年度財団法人日本宝くじ協会防災関連整備事業の一環で、この度「消火・通報訓練指導車」(通称:けすゾウくん)が消防本部予防課に配備されました。

この車両には、訓練用水消火器・119番通報訓練機材・防災教育用機材等が装備されており、災害等に備えての防災訓練などに活用し、実際に消火器の取扱い及び119番通報を模擬体験することができるように、防災に関するビデオなどを視聴することもでき、防災について学ぶことができます。



消火・通報訓練にお役に立ちます! ～「消火・通報訓練指導車」の配備～



日頃の運動が大事です ～第3回スポーツフェスティバル in なは～

市民のみなさまの日頃の運動不足の解消と、体力作りに役立ててもらおうと、体育の日の10月13日(月)に市民体育館で「第3回スポーツフェスティバル in なは」が開かれました。メインアリーナで行われた体力測定会には、親子連れなど、多くの市民が参加。反復横とびや上体起こしなど9種目に挑戦しましたが、測定結果を見て「こんなはずでは」と、ショックを受けた参加者も多かったようで、改めて日頃の運動と健康管理の大切さを痛感した様子でした。

家譜と氏の話

『氏集 首里那覇』第5版ついに刊行!!



歴史博物館には、家のルーツを求める市民の方からの問い合わせが多くあります。その説明の力ギが一般にどう「系図」で、正式には「家譜」といいます。本来、「系図」とは先祖と子孫のつながりを示す「世系図」のことですが、「家譜」は、この「世系図」と先祖の勲功や履歴を示す「記録」を一緒にしたものをいいます。

王国時代の琉球の身分は、大きく分けて「士」(廃藩後の呼称は士族)と「百姓」(廃藩後の呼称は平民)の2つがあります。本格的な家譜の編纂は、1689年に首里王府に系図座が設置されてからのことです。1712年以降は、王府への献金などの功績により「百姓」から「士」にこりたてられて家譜を賜る家系も出てきます。家譜を持つことは「士」としての公的な証明を得ることであり、「百姓」との明確な身分の違いを意味するものでした。「士」は、中国向けの名前「唐名」と大和(日本・薩摩)向けの名前の2つを持ちました。王国時代の政治家「向家賢」を例にとると、「唐名」の「向」にあたる部分を「氏」といいます。そして、大和向けの名前である羽地按司朝秀の「朝秀」にあたる部分を「名乗」といい、「朝」を「名乗頭」といいます。「氏」も「名乗頭」も各一門で定められていました。

『氏集』は、明治政府の依頼で1894年に系図座の元役人により作成された家譜の目録で、氏や名乗頭、本家・分家関係などもわかる重要な史料です。問い合わせ・申込み那覇市歴史博物館 0869-15266 頒布価格 2,500円

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!

楊姓家譜(高江洲家)

静岡県広報局 発端丈山からの富士山(沼津市)
2009年3月開港
那覇 ←→ 静岡
ANA ●那覇発15:00→静岡着17:00 ●静岡発12:00→那覇着14:30

富士山静岡空港 Mt.Fuji Shizuoka Airport

問合せ先/静岡県空港部総務室 ☎054-221-3355